

なばえ
菜生海岸災害調査検討委員会

委員会設立趣旨

平成16年10月20日、台風23号の激しい高波により、高知県室戸市の菜生海岸において海岸堤防が約30mにわたって倒壊した。越波等により背後の家屋13戸が被災し、3名の方が亡くなるという惨事となった。

今回の人的被害、家屋被災の直接の原因は、堤防の倒壊により、高波が直接背後に流入したものであるが、この堤防の被災形態は、これまでの海岸災害ではほとんど見られないものであった。

このため、まず、専門的な英知を集めて堤防倒壊のメカニズムを明らかにし、被災の原因究明を行った上で、菜生海岸の復旧対策を検討することを本委員会の目的とする。

更に、本委員会での知見をもとに、別途行なう全国の海岸の必要な箇所についての総点検結果を踏まえた、今後のハード及びソフト両面での減災対策の検討を目的とする。

以上を行うにあたり、学識経験者の意見を聴くために本委員会を設立するものである。